

# 次世代型交通プロモーション運行事業委託事業実施結果（概要）

## 【事業趣旨】

公共交通における環境負荷の低減等に資するEVバスの普及促進に向けて、交通事業者等と連携しながら、プロモーション運行を実施

## 【事業概要】

実施期間	令和6年10月16日（水）～25日（金）
運行ルート	札幌市～斜里町～富良野市～札幌市（約1,300km）
使用車両	路線型EVバス1両（北海道バス(株)所有）
実施内容	10日間の長距離走行を行い、運行面の課題等を確認するとともに、世界自然遺産に指定された知床国立公園や大雪山国立公園など豊かな自然環境下で環境保全の取組を実践する斜里バス(株)・ふらのバス(株)等の協力をいただき、EVバス体験会を開催
実施結果	①快適性等を確認する地域住民向け乗車体験会 → 計92人の地域住民が乗車し、低振動、低騒音で高評価 ②操作性等を確認する運転手向け運転体験 → 計46人の運転手が運転し、操作性や加速性能で高評価 なお、導入には車両の保守体制や充電施設の確保が必要

## 【運行ルート】



## 【実施結果の概要】

## (4) E Vバス実装に向けた主な方向性

### (1) プロモーション期間中の運行状況

総運行距離	約1,300km
平均燃費	3.75km/ℓ
充電時間※	100%充電に約6時間50分
充電費用※	100%充電に約37,000円

※自動車販売店の給電施設等を活用した際の平均値から算出

### (2) 運転手向け運転体験会（斜里町・富良野市）

運転者数	計46名（斜里バス24名・ふらのバス22名）
運行ルート	短距離・中距離ルート等
体験結果	操作性や加速性能で高評価

### (3) 地域住民向け乗車体験会（斜里町）

乗車人数	計92名（斜里町・小清水町・清里町の地域住民等）
運行ルート	市街地ルート（約5km）
体験結果	低振動、低騒音で高評価（非常時の電源供給等の機能面は知らないとの意見が多い）

	主なポイント	今後の方向性
車両面	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 登坂能力は高くないものの、走行性能や快適性・静粛性などは運転手・利用者ともに高評価</li> <li>○ 走行中のCO2排出量の低減</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 短中距離で勾配の少ない市街地周遊ルート等が効果的</li> </ul>
充電施設	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 充電には一定の充電時間が必要</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 運行ルートと離れていない充電施設の確保</li> </ul>
運用・受入体制等	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 通常時の車両メンテナンスは負担が少ないものの、運行不能時には車両メーカーによる整備が必要</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 大規模修理や事故時等の対応のため、車両メーカーの整備体制の確立が不可欠</li> </ul>
採算性	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 現行の電気料金では、通常のディーゼルバスと比較して、費用が割高</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 今後の電気料金の変動状況や充電設備の一般住民への貸出等により収益改善が可能</li> </ul>

- E Vバスの持続的運行に向けては、整備体制の確立が必要であるものの採算面などから実装は可能
- 北海道ゼロカーボンの推進に向けて、関係者の一層の意識醸成と利用者の理解促進が必要

関係者と連携し、環境負荷の少ない交通の実現に向けた取組を促進